

2009年9月18日

エイチエスビーシー・バンク・ピーエルシー (HSBC Bank plc)、 初のサムライ債を発行

発行総額は当初予定の倍額となる1,194億円

ロンドンに本拠をおく世界有数の金融・銀行グループであるHSBCグループ傘下のエイチエスビーシー・バンク・ピーエルシー (以下HSBC Bank plc) は、9月17日、初の円建て外債 (サムライ債) の発行に向けた条件決定を致しました。発行総額は当初8月31日に発表した予定発行額の600億円から1,194億円へとほぼ倍増しました。同債券の起債が成功した要因として投資家からの強い需要が挙げられ、これにより今後のサムライ債市場の投資家動向に弾みがつくものと予想されています。

HSBC Bank plcが今回発行したサムライ債は固定利付債898億円、利率年1.49%(5年円スワップ金利+60bp)と変動利付債296億円(3ヶ月円LIBOR+70bp)の2本で構成されています。

払込期日は何れも2009年9月29日 (期間5年間)、発行価額100円 (額面)、利払日は固定利付債は毎年3月29日及び9月29日の年2回、変動利付債は毎年3月、6月、9月、12月の各29日の年4回です。償還期限は何れも2014年9月29日となります。

今回の起債について、HSBC Bank plc 欧州地域最高財務責任者のイアン・ジェンキンスは、「HSBC Bank plcにとって初のサムライ債が成功裡に発行されたことを大変嬉しく思っております。2009年に発行された政府保証債以外のサムライ債としては9月現在最大の案件であり、期待通りタイトなスプレッドで起債することができました。日本の投資家からこのようにご高評いただいたことは、HSBCのブランド力、また日本のHSBCグループへの信頼の証だと受け止めています。」と述べています。

同債券は、HSBC証券会社東京支店、三菱UFJ証券株式会社、みずほ証券株式会社が共同主幹事を務めております。

[次頁に続く](#)

エイチエスビーシー・バンク・ピーエルシー (HSBC Bank plc)、初のサムライ債を発行/2

注記:

HSBC グループ

HSBC グループの持株会社である HSBC ホールディングス plc は英国に本部を置いています。HSBC グループは、ヨーロッパ、アジア太平洋地域、アメリカ大陸、中東、アフリカにまたがる 86 の国と地域に 8,500 を超える拠点を擁し、2009 年 6 月末現在 2 兆 4,220 億米ドルの総資産を持つ世界有数の金融グループです。

HSBC Bank plc

HSBC グループ傘下の HSBC Bank plc は、英国において個人向け金融業務、マス富裕層向けの HSBC プレミア・サービス、プライベート・バンキング、中小企業向けの商業銀行業務、法人・機関投資家向け銀行業務など総合的な金融サービスを展開しております。

<円建て外債のリスク>

価格変動リスク:途中売却の場合には、売却時の債券市況や金利水準により、債券の売却価格が変動し、買い付け価格を下回ることもあります。

金利変動リスク:金利の上昇等による債券価格の下落により、損失を被ることがあります。

信用リスク:発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本割れや元利金の支払いが遅延する、または不払いとなるおそれがあります。

カントリーリスク:通貨発行国の国情の変化(政治、経済、取引規制等)により、投資元本割れや途中売却ができなくなるおそれがあります。

流動性リスク:途中売却の際、換金が困難な場合や不利な価格となり損失を被ることがあります。

<手数料について>

円建て外債を募集・売出し等により、または当社との相対取引により購入する場合は、購入単価のみをお支払いいただきます。

※お申込みの際は必ず、契約締結前交付書面および目論見書を十分読み、その内容をご確認下さい。

HSBC証券会社東京支店

(エイチ・エス・ビーシー・セキュリティー・ジャパン・リミテッド)

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第212号

日本証券業協会会員、社団法人金融先物取引業協会会員

以上